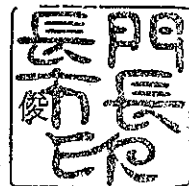


長建都管第 49 号
平成 19 年 5 月 7 日

国土交通省道路局長様

長門市長 松 林 正



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

新緑の候、ますますご清栄のこととお慶びを申し上げますとともに、平素より本市の道路行政にご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、先般ご依頼のありました中期計画の作成にあたっての意見につきまして、下記により申し上げますので本市の実情をご理解いただきますとともに、真に地方が望んでおります道路整備にご配慮いただきますようお願いいたします。

記

中期計画の作成にあたっての長門市の意見

1 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

本市は、平成 17 年 3 月に旧長門市・三隅町・日置町・油谷町の 1 市 3 町が合併し、新しい長門市として誕生している。

以来、市政運営の最優先課題は、新しい市民の一体感の醸成であり、広域化した新市の連絡機能の強化を図る意味からも、道路網の整備は重要な施策として位置づけている。

このため、旧市町間を結ぶ東西軸の道路整備、生活道路整備、少子高齢化に対応した交通安全・バリアフリー化対策、公共交通機関への支援、また、観光面では北長門海岸国定公園に指定されている景勝地と、湯本温泉をはじめとする温泉地をスムーズに結ぶ観光ルートの形成と整備などが課題となっている。

また、現在のところ、山口県全体においても市町村合併により、従来の 56 市町村から 22 市町へと集約化が進んでいる状況にあり、特に本市に隣接する下関市は、1 市 4 町が合併した県下最大の都市であり、本市とは歴史的にも社会・経

済的なつながりも強く、さらに背後に控える北九州市をはじめとする北部九州圏は、本市の課題である交流人口の拡大による観光振興や、生鮮食料品、農水加工品の消費地として重要な位置を占めている。

本市の自立的発展を進めていくためには、主要な産業である農林水産業等の基幹産業の底上げを目的とした6次産業の振興、豊かな自然景観や温泉を生かした観光の振興を大きな施策として位置づけているが、そのためには、隣接市である下関市、萩市との連絡・連携を強化し相互補完、相乗効果を効率よく実現していくことが重要であり、相互の移動時間短縮は各市共通の課題となっている。また、本市の場合、医療面においての3次医療施設は他市の施設に依存せざるを得ない状況であり、特に下関市への依存度が高く、単に社会・経済活動の活性化だけでなく、救急・救命医療の面からもアクセスにおける両市間の時間短縮は重要な課題となっている。

現在、長門市と下関市を直接連絡する道路は県道下関長門線があるが、異常気象時の通行規制、冬期の路面凍結、急カーブ・急勾配の連続区間、災害時の迂回路の欠如などにより、市民生活はもとより農水産品や製造品の安定輸送、観光客の移動、救急医療業務の面などで多大な支障・不安を抱えている状況にある。

このため、長門市、下関市間を連絡する高規格な道路の整備は、山陰道として山陰地域の高速ネットワーク化を実現する事業であると同時に、本市の懸案である県道下関長門線の課題を解決する手段として多くの市民が期待を寄せている事業である。

山陰道の整備は、地域が長年にわたり待ち望む悲願であり、長門市にとっては重点化を進める上で特に優先度の高い政策として掲げるものである。是非「道路整備の中期計画」へ盛り込んでいただくよう強く要望するものである。

2 その他、道路行政や道路の整備・管理全般に関する意見

公共交通機関が脆弱で、移動を自家用車に依存せざるを得ない本市にとって、道路は市民生活や社会経済活動を営む上で最も重要なインフラである。地方の道路整備が滞ることのないよう、道路整備財源の確保についてよろしく願いしたい。